

第3回

安城市

新美南吉 絵本大賞 作品大募集

●愛知県安城市は、新美南吉が「童話作家になりたい」という夢を叶えたまちです。平成25年度(2013年)に、南吉の生誕100年を記念して「安城市新美南吉絵本大賞」を創設しました。大賞作品は、安城市が単行本の絵本として発行・販売するとともに、本市の「ブックスタート」で令和5年10月～令和10年9月(2023年10月～2028年9月)に、本市で生まれた赤ちゃんとその保護者の方にプレゼントします。南吉の童話が、より多くの人に親しまれ、子どもたちの伸びやかな成長につながることを願って、皆さんの作品を募集します。

募集
期間

令和4年(2022年)4月1日(金)～
9月30日(金)[当日消印有効]

審査員 黒井 健(絵本作家)
松田素子(絵本編集者・本賞選考委員長)
増田喜昭(子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主)
丹藤博文(愛知教育大学教授)

賞金

総額100万円
大賞60万円＋絵本として出版
各賞に40万円(詳細は裏面)

[主催]愛知県安城市・安城市教育委員会

[事務局]安城市図書館情報館 <https://www.library.city.anjo.aichi.jp/>

[後援]半田市、半田市教育委員会、愛知県、愛知県教育委員会、中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、中部経済新聞社、共同通信、(株)キャッチネットワーク、CBCテレビ、東海テレビ放送、中京テレビ放送(株)、中日総合サービス、安城ホームニュース、国立大学法人愛知教育大学

南吉の童話をあなたの想像力で
ふくらませて絵本にしてください。
その絵本が多くの人に届きます

●イラストはいずれも、新美南吉絵本大賞を受賞した作品より
カエルと木の絵＝「二ひきのかえる」(渡辺美智雄・絵)
カニとタヌキの絵＝「かにのしょうばい」(竹中豊秋・絵)

新美南吉

大正2年～昭和18年(1913～1943年)。愛知県半田市生まれ。小学校の代用教員を経て、昭和13年(1938年)に愛知県安城高等女学校(現：愛知県立安城高等学校)に赴任。翌年から安城市新田町で下宿生活を始め、教師のかたわら執筆活動に取り組む。昭和17年(1942年)10月に初の童話集『おぢいさんのランプ』が出版される。南吉が安城で過ごした5年間は、教え子たちとの充実した日々に加え、童話作家になる夢を叶えた、最も輝いた青春時代であった。代表作に「ごんぎつね」「手ぶくろを買いに」などがある。



南吉童話を〈絵本〉にしよう！

南吉の童話をあなたの想像力で
ふくらませて絵本にしてください。
その絵本が多くの人に届きます

第3回

安城市

新美南吉 絵本大賞 作品大募集

●愛知県安城市は、新美南吉が「童話作家になりたい」という夢を叶えたまちです。平成25年度(2013年)に、南吉の生誕100年を記念して「安城市新美南吉絵本大賞」を創設しました。大賞作品は、安城市が単行本の絵本として発行・販売するとともに、本市の「ブックスタート」で令和5年10月～令和10年9月(2023年10月～2028年9月)に、本市で生まれた赤ちゃんとその保護者の方にプレゼントします。南吉の童話が、より多くの人に親しまれ、子どもたちの伸びやかな成長につながることを願って、皆さんの作品を募集します。

●イラストはいずれも、新美南吉絵本大賞を受賞した作品より
カエルと木の絵=「二ひきのかえる」(渡辺美智雄・絵)
カニとタヌキの絵=「かにのしょうばい」(竹中豊秋・絵)

募集
期間

令和4年(2022年)4月1日(金)～9月30日(金)[当日消印有効]

審査員

黒井 健(絵本作家) 松田素子(絵本編集者・本賞選考委員長)
増田喜昭(子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主) 丹藤博文(愛知教育大学教授)

賞金

総額100万円／大賞60万円＋絵本として出版／各賞に40万円(詳細は裏面)

[主催]愛知県安城市・安城市教育委員会 [事務局]安城市図書館情報館 <https://www.library.city.anjo.aichi.jp/>

[後援]半田市、半田市教育委員会、愛知県、愛知県教育委員会、中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、中部経済新聞社、共同通信、(株)キャッチネットワーク、CBCテレビ、東海テレビ放送、中京テレビ放送(株)、中日総合サービス、安城ホームニュース、国立大学法人愛知教育大学

新美南吉

大正2年～昭和18年(1913～1943年)。愛知県半田市生まれ。小学校の代用教員を経て、昭和13年(1938年)に愛知県安城高等女学校(現：愛知県立安城高等学校)に赴任。翌年から安城市新田町で下宿生活を始め、教師のかたわら執筆活動に取り組む。昭和17年(1942年)10月に初の童話集『おぢいさんのランプ』が出版される。南吉が安城で過ごした5年間は、教え子たちとの充実した日々に加え、童話作家になる夢を叶えた、最も輝いた青春時代であった。代表作に「ごんぎつね」「手ぶくろを買いに」などがある。



南吉童話を〈絵本〉にしよう！

南吉の童話をあなたの想像力で
ふくらませて絵本にしてください。
その絵本が多くの人に届きます

第3回
安城市

新美南吉 絵本大賞 作品大募集

●愛知県安城市は、新美南吉が「童話作家になりたい」という夢を叶えたまちです。平成25年度(2013年)に、南吉の生誕100年を記念して「安城市新美南吉絵本大賞」を創設しました。大賞作品は、安城市が単行本の絵本として発行・販売するとともに、本市の「ブックスタート」で令和5年10月～令和10年9月(2023年10月～2028年9月)に、本市で生まれた赤ちゃんとその保護者の方にプレゼントします。南吉の童話が、より多くの人に親しまれ、子どもたちの伸びやかな成長につながることを願って、皆さんの作品を募集します。

●イラストはいずれも、新美南吉絵本大賞を受賞した作品より
カエルと木の絵=「二ひきのかえる」(渡辺美智雄・絵)
カニとタヌキの絵=「かにのしょうばい」(竹中豊秋・絵)

募集
期間

令和4年(2022年)4月1日(金)～9月30日(金)[当日消印有効]

審査員

黒井 健(絵本作家) 松田素子(絵本編集者・本賞選考委員長)
増田喜昭(子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主) 丹藤博文(愛知教育大学教授)

賞金

総額100万円／大賞60万円＋絵本として出版／各賞に40万円(詳細は裏面)

[主催]愛知県安城市・安城市教育委員会 [事務局]安城市図書館情報館 <https://www.library.city.anjo.aichi.jp/>

[後援]半田市、半田市教育委員会、愛知県、愛知県教育委員会、中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、中部経済新聞社、共同通信、(株)キャッチネットワーク、CBCテレビ、東海テレビ放送、中京テレビ放送(株)、中日総合サービス、安城ホームニュース、国立大学法人愛知教育大学

新美南吉

大正2年～昭和18年(1913～1943年)。愛知県半田市生まれ。小学校の代用教員を経て、昭和13年(1938年)に愛知県安城高等女学校(現：愛知県立安城高等学校)に赴任。翌年から安城市新田町で下宿生活を始め、教師のかたわら執筆活動に取り組む。昭和17年(1942年)10月に初の童話集『おぢいさんのランプ』が出版される。南吉が安城で過ごした5年間は、教え子たちとの充実した日々に加え、童話作家になる夢を叶えた、最も輝いた青春時代であった。代表作に「ごんぎつね」「手ぶくろを買いに」などがある。



Niimi
Nankichi